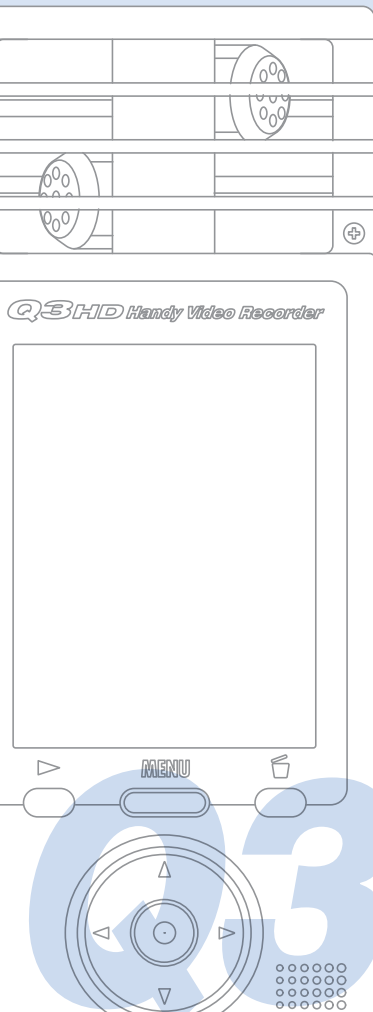
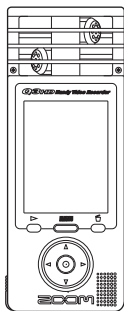
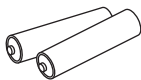
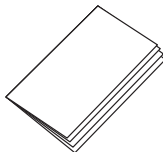
Handy Video Recorder

ユーザーガイド

ご使用になる前に
「安全上／使用上のご注意」を
必ずお読みください

同梱品一覧

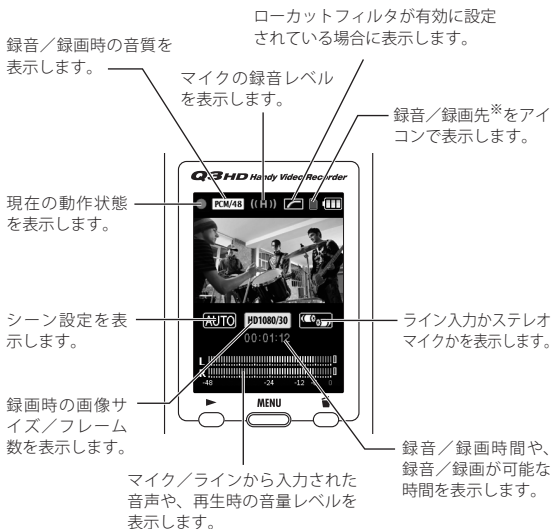
・Q3HD 本体

・単三形乾電池× 2（試供品）

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。

・SD カード

・ユーザーガイド（本書）

動画の編集 / 共有ソフトウェア HandyShare

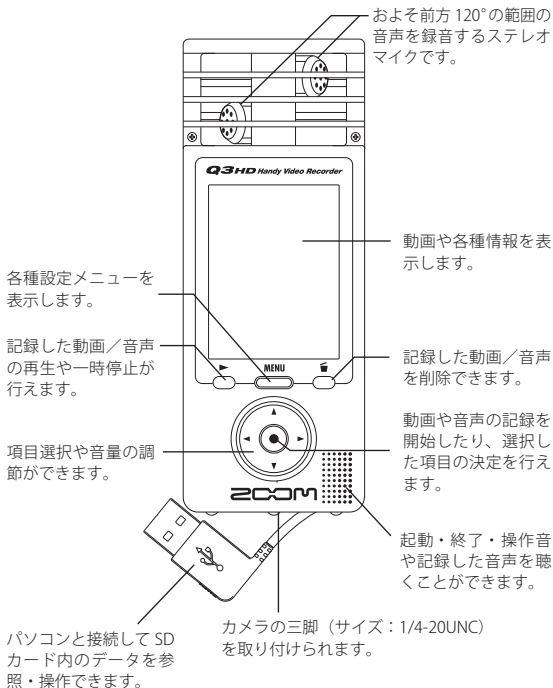
HandyShare をお使いになるには、付属の SD カードに収められている HandyShare のインストーラーをダブルクリックして、インストールを行ってください。また、パソコンに QuickTime がインストールされていない場合は、HandyShare 起動後の画面の指示に従ってインストールを行ってください。

各部の機能

■基本画面

※録音／録画先

- SD カードアイコン
  このアイコンが表示されている時は、SD カードに録音／録画します。
- 内蔵メモリアイコン
  このアイコンが表示されている時は、内蔵メモリに録音／録画します。

各部の機能のつづき

■本体各部

マイクの録音レベルを 3 段階（L= 低感度 , H= 高感度 , AUTO= 自動）に切り替えられます。

外部機器からの音声を入力することができます。

ヘッドホンや外部機器に音声を出力することができます。

別売の AC アダプター（ZOOM AD-14）を接続できます。

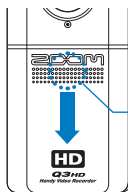
TV などにアナログの動画と音声を出力できます。

HDMI 対応 TV などにデジタルの動画と音声を出力することができます。

本体電源のオン／オフができます。

SD カードまたは SDHC カードの差し込み口です。

落下防止のためのストラップを取り付けられます。

■電池の入れ方

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。

日時の設定

記録した動画・音声ファイルの情報に反映されますので、最初に正確な値を設定してください。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「SetDate」を選択し、● を押します。
4. ▲▼◀▶ を使用して現在の日時に合わせ、● を押します。
5. 設定完了後、SETTING メニューに戻ります。

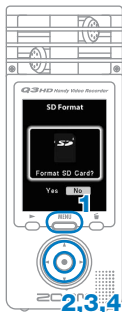
電池種別の選択

電池の種別を設定することにより、正確な電池残量を表示させることができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「Battery」を選択し、● を押します。
4. ▲▼ で使用する電池の種類を選択し、● を押します。
5. 設定を終えたら、MENU を押します。

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。

SD カードのフォーマット

SD カードを初期化して、Q3HD で使用できるようにします。この操作を行うと、すべてのデータが消去され、元に戻すことができなくなりますのでご注意ください。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させせます。
2. ▲▼◄► で SETTING を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「SD Format」を選択し、● を押します。
4. ◄► を使用して、フォーマットする場合は「Yes」を、しない場合は「No」を選択してから、● を押します。
5. 再度確認画面が表示されるので、同様に選択してから ● を押します。

● 「Yes」を選択した場合

フォーマットが開始されます。

● 「No」を選択した場合

SETTING メニューに戻ります。

6. フォーマット終了後、SETTING メニューに戻ります。

MEMO

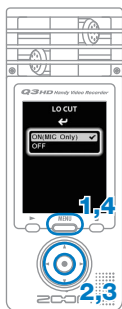
- SD カードのプロテクトを ON にしていると、フォーマットできません。
- 同時に、内蔵メモリのデータも初期化されます。

操作音のオン・オフ

本製品起動時や操作中のスピーカー音の有無を設定することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させせます。
2. ▲▼◄► で SETTING を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「Beep」を選択し、● を押します。
4. ▲▼ で「ON」または「OFF」を選択し、● を押します。
5. 設定を終えたら、MENU を押します。

雑音の軽減

ローカットフィルタ機能をオンにすると、風による雑音などを軽減させる効果があります。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させせます。
2. ▲▼◄► で LO CUT を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「ON」または「OFF」を選択し、● を押します。
4. 設定を終えたら、MENU を押します。

MEMO

アクセサリーパック「APQ-3HD」に含まれるウィンドスクリーンを使用することで、より効果が高まります。

録音レベルの設定

マイク感度を切り替えることで、小さな音から大音量のバンド演奏まで最適なレベルで録音することができます。

1. 録音状況に合わせて、録音レベル調整スイッチを切り替えます。

L ・・・・・・	低感度（バンド演奏、コンサート向け）
H ・・・・・・	高感度（フィールドレコーディング向け）
AUTO・・・・	自動調整（多用途向け。音割れしないよう録音レベルを一定に保ちます。）

MEMO

AUTO LEVEL AUTO 時、AUTO LEVEL メニューでマイク感度の動作を設定できます。

Up and Down ・・・・	感度を入力に応じて上下させる
One Way Down ・・	過大入力に対して感度を下げるだけにする

音声のモニター設定

録音している音声をライン／ヘッドホン出力端子、TV 出力端子、HDMI 端子からモニターすることができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。
2. ▲▼◄► で SETTING を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で「Sound Monitor」を選択し、●を押します。
4. ▲▼ で「ON」または「OFF」を選択し、● を押します。
5. 設定を終えたら、MENU を押します。

撮影シーンの選択

動画の撮影状況に応じて、カメラの設定を選択できます。
暗いところや強いライトのあるステージでも、最適な動画を撮影することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。
2. ▲▼◄► で SCENE を選択し、● を押します。
3. ▲▼ でモードを選択し、● を押します。

Auto

自動的に最適な設定を行います。

Concert Lighting

ライブやコンサートなど、強いライトがあるシーンに最適な設定を行います。

Night

夜間や暗いシーンに最適な設定を行います。

4. 設定を終えたら、MENU を押します。

画質の選択

録画時の解像度とフレーム数を変更できます。
画質を良くするにしたがって、録画可能な時間は減少します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。
2. ▲▼◄► で VIDEO を選択し、● を押します。
3. ▲▼ で解像度を選択し、● を押します。
4. 設定を終えたら、MENU を押します。

音質の選択

録音／録画時の音質を選択できます。
音質を良くするにしたがって、録音可能な時間は減少します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。

2. ▲▼◀▶ で SOUND を選択し、● を押します。

3. SOUND QUALITY メニューが表示されますので、必要に応じて各項目の設定を変更します。

Format

フォーマット（PCM または AAC）の選択ができます。

Sample Rate

PCM 選択時、Sample Rate の変更ができます。

Bit Length/Rate

PCM 選択時は Bit Length を、AAC 選択時は Bit Rate を変更できます。

4. 設定を終えたら、MENU を押します。

録音／録画する

基本画面からボタン 1 つで録音／録画が開始されます。

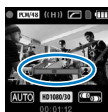
1. 準備が整ったら、◉ を押します。
録音／録画が開始されます。

- 録画するか録音（音声のみ）するかの選択は、CAMERA で行います。

- ◄ ► を押すことでズームイン／アウトを、▲ ▼ を押すことでライン／ヘッドホン使用時の音量調節を行えます。

<ズームイン／アウト>

<音量調節>

<音声のみの場合>

2. 録り終えたら、◉ を押します。
基本画面に戻ります。

MEMO

- 録音／録画中にカードへの転送速度が間に合わなかった場合、「Low Speed Card !」と表示され停止します。これを避けるため、クラス 4 以上のカードの使用を推奨します。また、www.zoom.co.jp では、使用可能な SD カード情報を公開しています。
- SD/SDHC カードが挿されていない状態でも、本体メモリ（64MB）に録画することができます。なお、この動画は本体上でのみ再生でき、コピーや移動はできませんので、ご注意ください。

再生する

録音／録画した音や動画を再生するには横向きで使用します。

1. 基本画面で ▶ を押します。

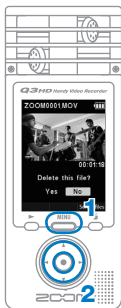
2. 別のファイルを再生したい場合は ◄ ► で選択し、 ▶ を押します。

●その他のボタン機能

音量調節 …………… ▲ ▼
早送り・早戻し …… 再生中に ◄ または ► を長押し
一時停止・解除 …… 再生中および一時停止中に ▶

MEMO
Q3HD で撮影された動画しか再生することができません。

削除する

動画や音声を削除し、メディアの空き容量を増やすことができます。

1. 削除したい動画を再生させ 🗑 を押します。

   ・基本画面で押すと、最後に再生、もしくは録画した動画が削除対象として選択されます。

2. 確認画面が表示されるので、削除するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、◉ を押します。

■複数の動画をまとめて削除するには

1. 基本画面または再生状態のとき、 を押すと、Delete this file? 画面が表示されます。
   この時もう一度 を押すと動画選択画面が表示されます。

2. ▲▼◀▶ で削除したい動画にカーソルを合わせ、● を押します。

3. 削除する動画の数に応じて手順2を繰り返します。
   - 全ての動画を選択したいときは、 を押します。

4. 選択し終えたら、 を押します。

5. 確認画面が表示されるので、削除するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、● を押します。

編集する

記録した動画や音声を「分割（DIVIDE）」したり、「部分削除（TRIM）」することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。

2. ▲▼◀▶ で FILE を選択し、● を押します。

3. 記録した動画がサムネイルで表示されるので、▲▼◀▶ で編集したい動画を選択し、● を押します。

4. 編集メニューが表示されるので、▲▼ で メニューを選択し、● を押します。
16 ページを参考に確認・編集します。

5. 確定操作後、再確認画面が表示されるので、実行するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、● を押します。

6. 編集を終えたら、MENU を押します。

＜ DIVIDE（分割）＞

◀▶ … 分割位置移動

…… 再生／一時停止

● ……… 分割位置の確定

＜ TRIM（部分削除）＞

◀▶ … 削除範囲の始点／終点位置移動

▲▼ … 削除範囲の始点／終点切り替え

……… 再生／一時停止

● ……… 削除範囲の始点／終点位置確定

＜ INFORMATION（ファイル情報）＞

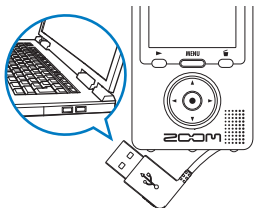
● …… サムネイル表示に戻る

外部機器との接続

目的に応じて、色々な機器に接続できます。

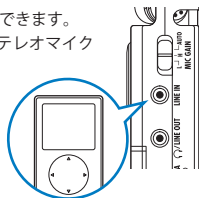
■記録したファイルを動画共有サイトへアップロードする／編集を行う／パソコンに保存する（USB 接続）

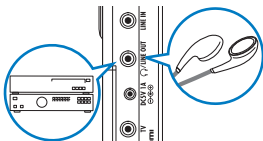
本製品の電源をオフにした状態で、Windows 搭載 PC または Macintosh に内蔵 USB 端子を接続します。このとき、付属ソフトウェア「HandyShare」により、以下のような操作ができます。

- 動画共有サイトへのアップロード
- 音に残響音などの効果を加える
- 音や動画の再生
- ファイルの削除／バックアップ
- 音や動画の指定範囲を抜き出す

MEMO

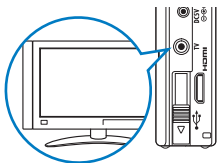
HandyShare は付属の SD カードに収められています。
→ 1 ページ

■外部機器から音声を取り込む（LINE IN 接続）

外部機器から音声を取り込んで録音することができます。
LINE IN に外部機器を接続しているときは、ステレオマイクは無効になります。

■外部オーディオ機器、ヘッドホンで音声を聴く（LINE OUT 接続）

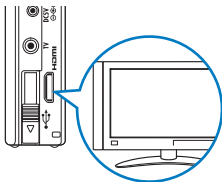
ヘッドホンを使用したいときや、外部オーディオ機器のアンプを利用して音声を聴くことができます。
録音中の音声をヘッドホンで聴くには、モニター機能を ON にします。
→ 8 ページ「音声のモニター設定」

■ TV で表示する（AV 接続）

AV ケーブルを使用して、TV などに記録した動画・音声を出力することができます。

- 外部 TV に接続する前に、SETTING メニューの TV OUT 設定を地域に合わせて変更してください。

■ TV で表示する（HDMI 接続）

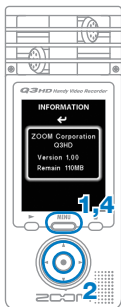
HDMI ケーブルを使用して、HDMI 対応 TV に、高画質で表示させることができます。

MEMO

TV によってサポートされている音声フォーマットの種類が異なるため、正しく再生できない場合があります。

注 意

Q3HD 側の端子は HDMI ミニ端子（タイプ C）です。
市販の HDMI ケーブルを使用する場合は、片方の端子が Q3HD と接続するための HDMI ミニ端子（Type C）で、もう片方がお使いの TV に合った形状の HDMI 端子の、High Speed HDMI Cable（カテゴリ 2 ケーブル）をご使用ください。

情報の表示

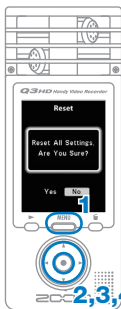
ファームウェアのバージョンと録画可能な空き容量を確認できます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。

2. ▲▼◄► で INFO を選択し、● を押します。

3. 情報を確認します。

4. 確認を終えたら、MENU を押します。

設定内容をリセットする

画質や音質、シーン設定など、本体の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させます。

2. ▲▼◄► で SETTING を選択し、● を押します。

3. ▲▼ で「Reset」を選択し、● を押します。

4. 確認画面が表示されるので、リセットするには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、●を押します。

ファームウェアのバージョンアップ

必要に応じて、ファームウェアのバージョンアップを行います。

MEMO

ファームウェアのバージョンはINFORMATION メニューで確認することができます。

1. バージョンアップ用ファイルを SD カードにコピーします。
   ・最新のバージョンアップ用ファイルは www.zoom.co.jp からダウンロードできます。

2. SD カードを本体のカードスロットに差し込みます。

3. を押しながら を押して起動します。
   バージョンアップ画面が表示されます。

4. 表示されたバージョンアップ内容でよければ、「Yes」を選択して を押します。

5. バージョンアップが完了して Complete 画面が表示されたら、 を押して終了してください。

注 意

電池残量が足りないときは、バージョンアップできません。

安全上／使用上のご注意

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、次の事項にご注意ください。

■電源・電池について

警告

- AC アダプターは必ず「DC5V1A センタープラスタイプ（ZOOM AD-14：別売）」をご使用ください。
- AC アダプターを長時間ご使用にならないときは、コンセントから抜いてください。
- 乾電池をご使用の際は、市販のアルカリ電池またはニッケル水素充電池の単三形乾電池× 2 を正しい方向にセットしてお使いください。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出してください。

■使用環境について

注意

次のような場所でのご使用は、故障の原因となりますのでお避けください。

- 温度が極端に高くなるところや低くなるところ
- 暖房器具など熱源の近く
- 湿度が極端に高いところや、水滴のかかるところ
- 砂やほこりの多いところ
- 振動の多いところ

■取り扱いについて

警告

本製品を分解したり、改造しないでください。けがや故障の原因となります。分解・改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

注意

スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。

このユーザーガイドは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

FCC regulation warning (for U.S.A.)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device,pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- **Reorient or relocate the receiving antenna.**
- **Increase the separation between the equipment and receiver.**
- **Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.**
- **Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.**

For EU Countries

Declaration of Conformity:
This product complies with the requirements of
EMC Directive 2004/108/EC and
Low Voltage Directive 2006/95/EC

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。